

2015年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」

大阪大学生物工学国際交流センターでは、JSTから事業の採択を受けて、大阪大学研究施設での実習と講義、企業生産施設見学を組み入れた交流事業を行いました。

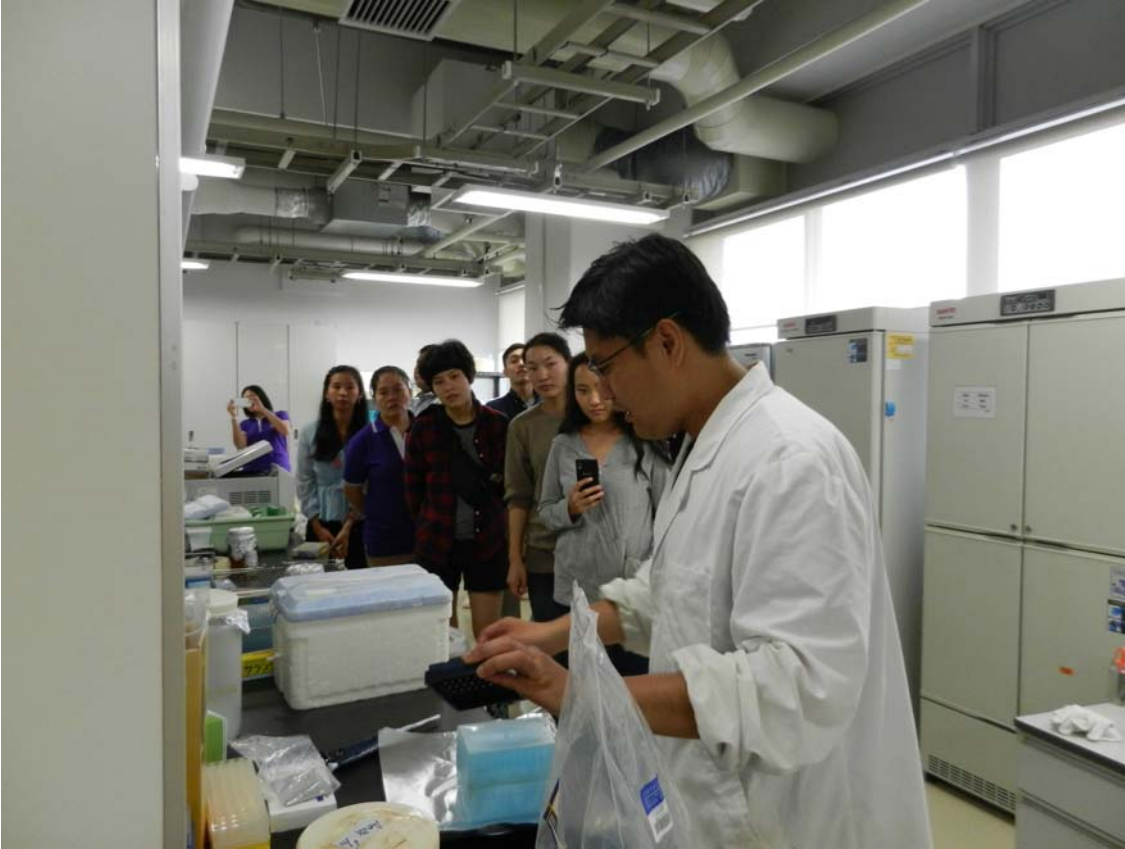
世界に誇る我が国の優れた先端バイオテクノロジー研究を紹介するために、先端バイオ講義や当センター並びに本学工学研究科・応用生物工学の各研究室の訪問・見学や、阪大の再生医療センターなど先端バイオ施設見学を行いました。また、タンパク質のX線結晶解析や癌の重粒子線治療にも用いられるSpring8の見学、理研スーパーコンピューター京の見学、及び分析機器メーカーとして国内最大手の島津製作所の見学を行い、バイオテクノロジー分野における産官学に渡る日本の科学技術を紹介しました。最終日には、自主的な知識として定着することを意図して、本プロジェクトに関して参加者によるプレゼンを実施しました。

◆ 2015年度 活動内容

2015年9月8日 講義 生命先端工学専攻 岡野憲司助教
「Industrial application of enzymes (酵素の工業的応用) について」



2015年9月9日 見学 大阪大学生物工学国際交流センター仁平研究室



2015年9月10日 見学 理研SPring8



2015年9月10日 見学 理研計算科学研究機構スーパーコンピュータ一京



2015年9月11日 見学 島津製作所



2015年9月14日 最終日成果発表



2015年9月14日 修了証書授与

